

医王山1班登山記録

1年 杉山 翔、水谷冠太、藤原里帆

2020年7月23日(木)、金沢大学ワンダーフォーゲル部の新歓登山で医王山を登った。新型コロナウイルスの影響で自粛期間が続き、活動自体が難しい中で新歓登山を企画・実行してくださった先輩方、顧問の先生には感謝申し上げます。自分たち1年生は初の部活動(登山)であり、メンバーとも初対面だったのでとても緊張した。しかし、登山中に会話をすることで徐々に打ち解けることができた。先輩方も明るくて、優しい方々で登山について何もわからなかった自分たちに一から教えていただき、とても頼もしかった。帰宅してすぐ寝てしまうほど疲れはしたが、充実した楽しい登山だった。

〈準備〉

帽子、タオル、レインウェア、地図、飲み物、昼食、ザック、登山靴、靴下
日帰り登山のためヘッドライト、寝袋などの装備は必要なし

〈当日〉

9:00 医王山スポーツセンター前集合(曇り)登山前に身体をよくほぐしてから登山へ。一列に並んで落ち着いたペースで進み、西尾平駐車場で一旦休憩。ここまでは道路で山道ではなかった。このあたりから雨が降り始める。小雨だったためレインウェアは着なかった。

西尾平駐車場を過ぎてから本格的な登山となった。幅が狭く、草木が生い茂っていた。けれども陰しいコースではなく、一本道が続いていたので迷うこともなく順調に進んでいった。適度に休憩を取り入れながら進み、展望台へ到達。曇っていたが見晴らしがよく遠くまで見渡すことができた。

その後、頂上までの中間点である夕霧峠で昼食休憩をとる。自分はこの時点で脚ががくがく震えたのを覚えている。先輩が用意していたカップラーメンやパンをいただき元気を取り戻した。夕霧峠から奥医王山頂へ到達。東経136.4°、北緯36.3°、標高939.1m

7/23(木) 奥医王山頂



班員で記念に写真を撮りそのまま下山。雨で滑りやすくなっており、登山靴を履いていなかったの途中で滑ってしまった。また、下ばかりに気をとられていたせいで頭上を横たわっていた樹木に頭をぶつけた。雨で視界が悪い分余計に気を付けなければならない。やはりちゃんとしたレインウェアと登山靴はマストだと心から感じた。

約1時間半〜2時間でゴール。先輩の車に乗せてもらってそのまま帰宅

〈登山で学んだこと〉

- ・軽食は安くて軽くて高カロリーな柿ピー、クッキーなどがおすすめ(先輩はボトルに入れていた)エネルギー不足だと低血糖になってしまう
- ・接地は平地と山地で使い分ける。平地はかかとから、山地はフラットで。自分は山地でつま先から接地していたので足の指と爪が痛くなった。

医王山 新歓登山

富取泰治

私は7月24日に新歓登山で医王山に登ってきました。久しぶりの登山でしたので、当日をとっても楽しみにしていました。一方、私にとって初めてのワンダーフォーゲル部での活動でしたので、先輩も同級生の顔も知らず、緊張しながら集合場所まで歩いたのを覚えています。バスに乗ってからは同じ班の先輩がいろいろと声をかけて下さり、少し緊張が緩んだと思います。

当日は残念ながら雨が降っていましたが、話し合いの結果、登山を決行することになりました。

バスで医王山スポーツセンターに到着すると、班で集合し、自己紹介をしてから登山を開始しました。

最初は森林の中を登っていきました。登山中も先輩が声をかけて下さり、登頂まで楽しく会話をして登山をすることができました。今年は新型コロナウイルスの影響で前期の授業はもちろんのこと、サークルの活動もほとんどオンラインでしたので、大学の先輩から大学生活について直接伺う機会がありませんでした。そこで、私ともう一人の新入生で先輩に大学生活やサークルの活動についてたくさん質問させていただきました。特に、授業のことやバイト探しのことは大変勉強になりました。また、もう一人の新入生が高校山岳部出身でしたので、山の話で盛り上がるのができ、楽しかったです。

私はこれまで父と二人で登山をしていたので、隊列を組んで登山をするのは初めての経験でした。隊列を組んだとき、自分がワングルに加入したことを実感しました。私が先頭になったとき、後ろを気にせずに進んでしまい、先輩に注意を受けました。仲間同士ではぐれてしまわないよう、これから先頭になったときは後ろを振り返るよう気を付けていきたいです。

標高が上がるにつれ、徐々に森林が開けてきて景色が良くなってきました。当日はあいにくの雨天でしたが、景色がそこまで悪くなかったのは不幸中の幸いでした。金沢市を一望できる場所もあり、新鮮な気分を味わえました。

その後、山頂付近で昼食をとりました。同級生は手作りの美味しそうなサンドウィッチを持ってきたので、ランチパックとイオンの焼きそばパンを持ってきた私はいたたまれない気持ちになりました。

それから下山を開始しました。下りは登山道ではなく、林道を通っていきました。歩きやすくスピードが出る反面、固いコンクリートで足が痛くなりました。



(医王山登山道から 2020 7/24)

下山後はまたバスに乗って麓まで下りていき、解散となりました。

今回の医王山登山でこれからのワンダーフォーゲル部での活動がより一層楽しみになりました。今はまだ新型コロナウイルスの影響でなかなか活動できていませんが、これからの活動に備え、知識や体力を蓄えておきたいと思います。

新歓登山 医王山 4班

中山詩野

行程

9:00 登山開始

14:00 バス停着

7月23日に新歓登山で医王山に行ってきました。登山をするのは久しぶりだったということもあり、前日までとはとてもワクワクしていたのですが、当日はあいにくの天気でも雨降りそうな雲行きでした。カッパを着て登山することが個人的にとっても嫌で、正直雨が降ったら帰りたいと思っていました。それなのに医王山スポーツセンター前に到着したバスを降りる頃にはパラパラと雨が降り始め、思わずため息が出ました。

現在進行形で雨が降っているせいか前日に降ったからかわかりませんが、足元もだいぶぬかるんでおり、本当に幸先は悪かったように思います。ここまでのいいことが何一つありませんでしたが、実際登山を開始するといくつかとても印象に残る出来事がありました。1つ目は、同じ班の2年生の韓ドラの話です。後方から聞こえてくる「愛の不時着」の良さを力説する先輩の韓ドラ愛が120%伝わってきました。今までそのジャンルに手を出したことがなかったのですが、そこまで言うのならぜひ見てみたいと思いました。2つ目はこれまた同じ班の今度は1年生が持ってきた大きなプリンです。弁当箱いっぱいプリンを作ってきており、一口もらいましたがとてもおいしかったです。山に手作りプリンを持ってくる人を初めて見ました。3つ目は先輩方との交流です。最初バスを降りた時に3年生の先輩が話しかけてくださり、そのあとも登山中に先頭に行く2年生の先輩や、休憩中に、後から来た別のパーティーの1年生や3年生の先輩方が話しかけてきてください

ました。学類の話や初習言語の話、ドラマの話など本当にたくさん話すことができました。初対面の人といきなり山に行くのは不安も大きかったのですが、同じ1年生の人も先輩方もとても気さくな方々ばかりで安心しました。

コロナウイルスの蔓延により例年のような1泊2日の行程ではありませんでしたが、日帰りでも悪天候でもとりあえず楽しい1日となりました。3か月前の登山について書いているので多少内容に事実と異なる場合があるかもしれませんがご容赦ください。

医王山初登山

藤原 皓

新型コロナウイルスの影響により大幅に遅れてしまいましたが、人生初の登山を7月23日に医王山で経験してきました。僕の登った班は1年生が僕のみでしたが先輩方が何から何まで初心者の方に丁寧に教えてくださったおかげで楽しく登ることができました。次にワンダーフォーゲル部で登る機会があれば同学年の人たちとも登ってみたいなと思います。

今回医王山を登って一番に感じたことは装備の重要性です。僕は全く登山をしたことがなく、当然装備も何一つ自前でそろっていない中での登山でした。当日はあいにくの天気で、雨が降っていたため地面はかなりぬかるんでいました。また履いていた靴はランニングシューズでした。そのためお恥ずかしながら何度も何度も滑ってしまい、体も思うように動かすことができませんでした。僕は高校まで野球をやっていたため体力にはある程度自信がありましたが、山とは恐ろしいものです。ここで僕は登山靴がいかに大切か身をもって学びました。しかし、今はある程度の装備がそろったため何でもできるような気がしています。次に感じたことは外で食べる食事のおいしさです。以前から先輩に山で食べる食事は三倍おいしいと伺っていましたが、まさにその通りで山を登り程よくおなかが減ったときに温かいカップ麺を食べたときは感動しました。これからの登山での食事もとても楽しみです。インスタント麺などだけでなく、自分で調理もできるように器具も揃えたいと思っています。さらに今回の登山でだれかと一

緒に登ることは楽しいことなのだと心から感じました。一人でする登山にも当然楽しさがありますが、やはり誰かとお話をしながら一緒に登ることで感情を共有できるのは素晴らしいと思いました。これから先輩方や同学年、また新しく入ってきてくれる後輩の人たちともたくさんお話をして交流を深められることを楽しみにしています。最後に感じたこととして、登り切ったときの達成感は何とも言えない清々しさがありました。道中で転んだことや雨に濡れたこと、そのようなことがどうでもよくなるほど「やり切った」という気持ちがこみ上げてきました。登山の魅力の一つを感じることができたと思います。

残念ながら新型コロナウイルスの影響でワンダーフォーゲル部としての活動はほとんど行えていないのが現状です。本来ならばとくに夏合宿も経験し、山の知識もたくさん増えていたのかもしれませんが、さすがそれを嘆いては何も始まりません。徐々に新しい環境の中で部の人たちと会う機会も増えてきているので、それを大切にこれからの活動に向けて準備をしていきたいと思っています。

写真：医王山休憩所からの景色(2020 7/23 撮影)



写真：西尾平休憩所にて (2020 7/23 撮影)

